

東京データプラットフォーム協議会 第4回推進会議 事務局資料

令和4年2月14日

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

【振り返り】委員からいただいたご意見（1/2）

	主なご意見	対応方針
TDPFの 進め方・ 事業計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 女性、障害のある方、外国人など、多様性が生きやすいようなデータの使い方が、データを使う目的の一丁目一番地にあるのだという感覚を失わないようにする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンに考え方を盛り込んで、ユースケース検討や各事業の取組を推進
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境分野の取組において、都庁内・他自治体・民間企業とデータ利活用に関する連携を進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後のフォーカス分野の候補の一つとして、環境分野を検討 ■ WG活動やケーススタディ事業などのユースケース検討において、社会課題の解決に着目して推進
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「スマート東京」を目指すにあたり、経済発展と社会課題の解決の両立をさせるならば、社会課題の解決をデータで行う分野を結び付けて考えるべき 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからはオープンデータの質の向上、利活用の促進、自治体の負担軽減を進めるべき。「作業支援ツール提供」「作業の支援」「活用事例の公開」を区市町村は求めている 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFとしては、行政データ整備のマニュアル化・公開など、行政データ整備モデル事業を通じ、区市町村と取組を後押し
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョン・ミッションについては都民に共感される素晴らしいものを策定している 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 推進会議でお示した案を活かしつつ、ブラッシュアップを実施
<ul style="list-style-type: none"> ■ データの利活用によるインパクト・合理性や利活用事例を民間企業・自治体にわかりやすく発信すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ WGやケーススタディ事業等の取組を通じ事例発信 ■ イベント等を通じた発信力強化に取り組んでいく 	

【振り返り】委員からいただいたご意見（2/2）

	主なご意見	対応方針
コミュニティ 形成・仲介組織	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ利活用に関わる論点について様々な人に働きかけていくアドバイザー・伝道師のような存在が必要であり、仲介組織が担うべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 来年度協議会の取組として、アドバイザー制度を試行予定
	<ul style="list-style-type: none"> ■ まず実務家同士がつながり、知恵を持ち寄るなど人間のつながりを重要視すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ WG活動等において、実務家同士が対面する活動機会を拡大する ■ Slack等オンラインコミュニティの活性化にも取組中
データ利活用・ データ整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発災時だけでなく、平時の様々な地域活動や行政分野にデータを溶け込ませ、日常の中にデータを使っていく活動、取組などの活動を続けていくことが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ インフラ関連情報などについて、発災時だけでなく、平時のデータ利活用についても検討していく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定常的な業務においてもデータ、システムにおいて外に出せるような仕組みづくりを考え、シナジーをもって全体としてデータが流通する仕組みを進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連事業のオープンデータ推進・デジタルツインとも連携し、TDPFの行政データの流通拡大を目指していく
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都民の方あるいはデータの御本人、データを収集する際に関連するような方たちの意見をどのような形で吸い上げるのかは一つの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルサービス局のHPにて広く意見や感想を募るフォームの開設を予定

【振り返り】参加者からいただいたご意見

分類	主なご意見	対応方針
TDPFの 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 脱炭素やごみ問題の環境系の注目度が高いので重要課題として含めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今後のフォーカス分野の候補の一つとして、民間企業・団体の動向等も踏まえ、環境分野も検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 官民で共有できるメリットやKPIの議論を深めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業等でのユースケース実践を通じて検討を進めていく
コミュニティ 形成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他団体との交流やコラボレーションできる仕掛けがあると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連団体や本協議会がそれぞれ主催するイベントに相互に登壇する等の活動を拡大中
	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル原則まで思い至らない基礎自治体に対して、どのように合意形成すると上手くいくのかなどの先進地の暗黙知を形式知化して皆で共有する仕組みを検討すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政データ整備モデル事業の成果等を推進会議やイベント等を通じて今後広く情報発信していく
TDPF 関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手続きを行う上でアナログでは顔パスで良かったことがデジタルでは認証が必要になるが、その点のトラストやアシュアランスも検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFとして、安心してデータ利活用を促進する仕組み構築に向けて、データ連携基盤の要件としてトラスト等の機能も検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ連携基盤どうしをつなぐための具体例（構想や手段など）を検討すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DATA-EXの取組状況等も踏まえ、TDPFとしても他基盤との連携方法を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治体のデータ整備内容が貧弱であり、整備することによるインパクトについてKPIを設定したうえで再検討すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政データ整備モデル事業の成果・課題を踏まえ、今後の取組を検討

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

全体スケジュール

令和3年度		~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	
推進会議		第1回 6/9	第2回 8/10	第3回 11/25	第4回 2/14	
イベント					オンライン セミナー 1/25	
WG	混雑WG	第1回 5/20		第2回 10/20		第3回
	防災データ WG	WG設立・ 準備	第1回 7/15	第2回 10/20	第3回・ アイデアソン 12/14・16	第4回
	施設系データ 集約WG		第1回 7/15	第2回 10/20	第3回・ アイデアソン 12/6	第4回
関連 事業	ポリシー 策定				ポリシー 策定 委員会 1/12	

本日

令和3年度の取組

令和2年度

令和3年度

コミュニティ構築

準備会

- ・事業範囲、WGの検討

WGの設置

- ・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

- ・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

- ・TDPFのデータガバナンスに係るポリシー案1.0策定

ユースケース創出

協議会設立

- ・事業内容、事業計画(案)等の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

- ・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

データ整備

行政データ整備モデル事業

- ・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

ポリシー

ポリシー案の改訂

- ・継続検討・確定事項の反映

基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

- ・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

第3回WGの開催について

施設系データ集約WG・防災データWGを開催し、多くの方々にご参加

施設系データ集約WG

防災データWG

日時

令和3年12月6日（月曜日）
13時00分～13時30分

令和3年12月14日（火曜日）
13時00分～13時30分

概要

- トイレ施設データ収集状況
- データ収集活動から得られた課題と対応 等

- ユースケース及び課題の共有
 - 各ユースケースについて
 - ユースケースにおける課題について 等

参加者

- エリアマネジメント組織、地図ポータル事業者等の民間企業・自治体 等
55名

- 防災関連機関、指定公共機関等
民間企業、自治体 等
74名

【施設系データ集約WG】活動報告

西新宿のトイレ施設データ収集成果、データフォーマットの追加検討案を報告

トイレデータ収集状況

- ✓ 商業施設やホテル、区立公園等、来訪者が多い施設を優先的に収集
- ✓ 計8施設に協力いただき、約50か所のトイレエリアデータ（13か所の多機能トイレを含む）取得



データフォーマット案のブラッシュアップ

- 取得作業を通じ得られた示唆、WG参加者から頂いたご意見等を踏まえ、データ化項目、定義等を再検討、データフォーマット案をブラッシュアップ
＜追加・見直しを行った項目例＞

項目名	説明	形式
設置フロア	トイレが設置されているフロア情報	文字列 (半角数字)
施設URL	最新の営業時間を参照できるよう、各施設のTOPページのURLを記載	文字列
男性トイレ（オストメイト）	男性トイレの中で、オストメイト設置有無を記載。	文字列
男性トイレ（おむつ交換台）	男性トイレの中で、おむつ交換台の有無を記載。	文字列
女性トイレ（オストメイト）	女性トイレの中で、オストメイト設置有無を記載。	文字列
女性トイレ（おむつ交換台）	女性トイレの中で、おむつ交換台の有無を記載。	文字列
女性トイレ数（パウダーコーナー）	女性トイレの中で、パウダーコーナーの有無を記載。	文字列
多機能トイレ（オストメイト）	多機能トイレの中で、オストメイト設置有無を記載。	文字列
多機能トイレ（おむつ交換台）	多機能トイレの中で、おむつ交換台の有無を記載。	文字列

【施設系データ集約WGアイデアソン】実施概要

施設データの付加価値向上、更新スキーム等の課題についてアイデアソンを開催

実施日時

■ 12月6日（月曜日）午後1時30分～午後3時30分

検討 テーマ

- ①本年度の取組(西新宿ノトイレデータ収集)における課題の解決策
～ 収集データの維持・更新手法
～ データのサービス活用アイデア 等
- ②施設系データ集約WGの取組における新たな取組アイデア

検討テーマと 参加企業等

参加 企業 等

- NTTタウンページ(株)
- 小田急不動産(株)
- 新宿副都心エリア環境改善委員会
- (株)セールスフォース・ジャパン
- (株)ゼンリン
- (株)ナビタイムジャパン
- (株)VACAN
- (株)ラック



※WGで参加希望者を事前募集し、テーマ毎にグルーピング実施

【施設系データ集約WGアイデアソン】実施結果

クローズド・参加者間の顔が見える環境で、活発な提案・意見交換の場に

当日の議論のイメージ

- ・Miro(オンラインホワイトボードツール)によるディスカッション



参加者の声

- ・少人数で**参加者の顔が見える議論**ができた
- ・**他分野の方のアイデア**は、新たな気づきに

参加者の意見・アイデア概要（一部抜粋）

データの
かけ合わせ等
による
付加価値
提供

- ・ 安全な移動提案のための**ルート案内、マップ、施設利用状況の可視化**、等のサービス
- ・ **正確性、中立性、信頼性、容易性、接続性、公平性、即時性、社会的安心性**を満たすデータが必要

データの
維持更新
スキーム
検討

- ・ データの維持更新には、**行政等信頼性のある人の後押し**（例：プラットフォームの構築）が必要
- ・ **各社の館内マップの更新時に、提供データ更新も容易にできる仕組み**があれば、更新負荷が軽減

新規
ユースケース

- ・ BIツールを活用することで、**施設訪問者の時系列的な回遊の状況**を可視化をできる
- ・ 対象施設の勤務人数等、**事業所属性に関するビッグデータ**とのかけ合わせによる新サービスの創出

【施設系データ集約WG】意見交換・アンケート概要/今後の予定

いただいたご意見を、収集データの活用等の検討、実証等の取組に反映

参加者の ご意見 (一部抜粋)

- **地図上で施設系データを可視化**する取組をすすめたい
- データの活用は、**様々なケース別に個々のユーザーに落とし込んで**検討したい
- **トイレの閉鎖情報は重要**であり、定期的な更新以外に、優先度を高めてデータのやり取りができる仕組みをつくるべき
- **データ更新の一定基準**が設定できれば、周辺の事業者と協力・連携しながら取組を進めやすい
- **満空情報等のリアルタイムの情報を掛け合わせる**ことで、データの価値が向上

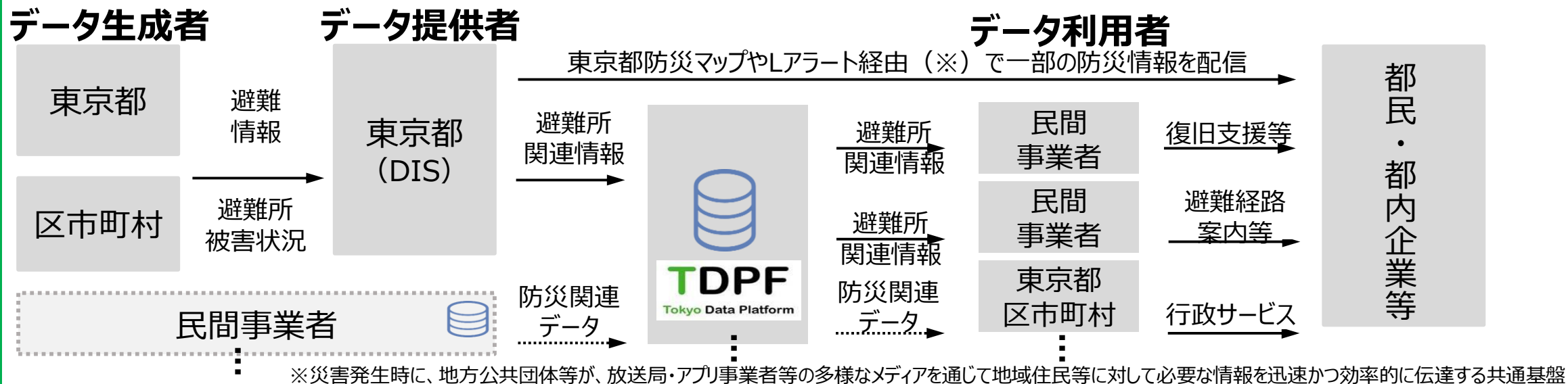
今後の予定

- 第4回のWGで、以下ご報告・意見交換を予定
 - ✓ 収集したトイレ施設データの活用イメージ
 - ✓ 今年度の活動成果総括 / 来年度の検討課題
- WGでの議論を踏まえ、都立施設のバリアフリートイレにて、協力事業者とともにトイレ空き状況の可視化の実証を予定（3月～4月）

【防災データWG】活動報告

発災時や平時のユースケースイメージ、それらの実現に向けた課題等を共有

避難所関連情報の利活用



発災時①

発災時②

平時

インフラ関連情報の利活用

インフラ稼働状況のデータ利活用を促進し、店舗の運営継続判断、物資輸送、インフラの早期復旧等に活用

静的データの利活用

ハザードマップや過去の被災データ等を機械判読可能な形式に加工し、リスク診断や分析・シミュレーション等に活用

課題・論点

発災時

平時

リアルタイムにデータ収集できるか

データを利用しやすい形で速やかに流通できるか

データの提供範囲や利用条件をどう整理するか

収集・整備したデータを維持・更新できるか

データを誰が加工・整備するか

【防災データWGアイデアソン】実施概要

発災時・平時のユースケースや実現に向けた課題・対応策についてアイデアソン実施

実施日時

■ 12月14日(火曜日)午後1時30分～午後4時、12月16日(木曜日)午前9時～午前11時

検討 テーマ

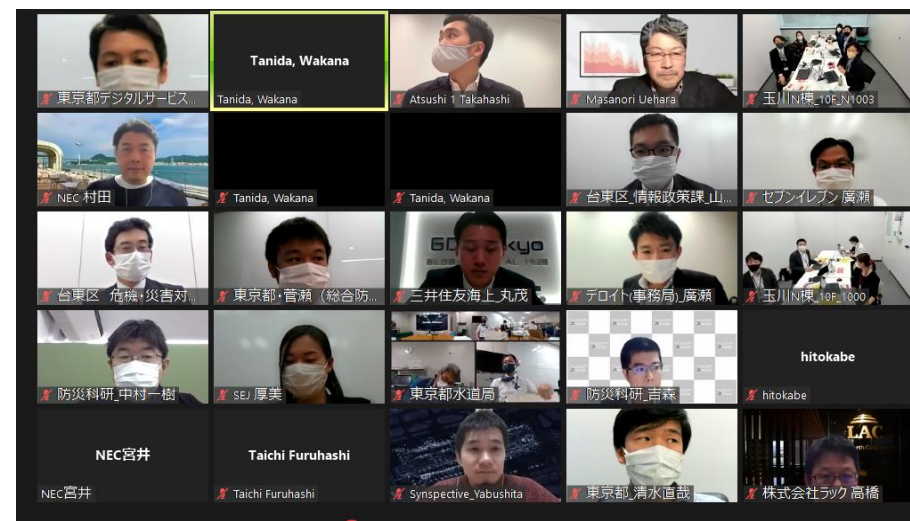
- ①発災時の都民生活の復旧等に資する官民データダッシュボードの作成
- ②平時系ユースケース創出
- ③発災時系ユースケース創出

参加 企業 等

- 青山学院大学/NPO法人 CrisisMappers Japan
- Office Hibiki
- (株)Synspective
- (株)セールスフォース・ジャパン
- セブンイレブンジャパン
- (株)ゼンリン
- 損害保険ジャパン(株)
- 台東区
- 日本電気(株)
- 防災科研
- 三井住友海上火災保険(株)/

MS&ADインターリスク総研(株)

- (株)ラック
- 東京都(総合防災部・水道局・建設局)



※WGで参加希望者を事前募集し、テーマ毎にグルーピング実施

検討テーマと 参加企業等

【防災データWGアイデアソン】実施結果

クローズド・参加者間の顔が見える環境で、活発な提案・意見交換の場に

当日の議論のイメージ

・Miro(オンラインホワイトボードツール)によるディスカッション



参加者の声

- ・定期開催により一層議論を深めていきたい
- ・官民一体で課題解決を行う貴重な機会

参加者の意見・アイデア概要（一部抜粋）

発災時のデータ利活用ニーズ

- ・避難所・トイレ・浴場の利用可否・混雑状況
- ・飲料水の入手可能な場所
- ・災害の状況(断水等)とその影響範囲

データ利活用の課題

- ・混乱を招かないよう情報公開範囲の設定
- ・データ利用者ニーズに合わせたフィルター設定

平時

- ・有事の対応効率化及び保険金支払早期化
- ✓ ドローンや衛星等のリアルタイムデータ活用
- ✓ BIツールの地図・空間分析を損害査定に利用

新規ユースケース

発災時

- ・発災時の物資需給ギャップの防止
- ✓ 時間経過を捉えた需給ニーズの把握が必要
- ✓ 各避難所に避難する人数・年齢・性別を把握することで、物資需給ギャップの発生を予測可能ではないか

【防災データWG】アンケート・意見交換概要/今後の予定

課題や対応策に関する意見を踏まえ、今後ユースケース実現に向けた取組を加速

参加者の ご意見 (一部抜粋)

- **避難所開設・混雑の状況**や**道路不通情報**等の情報が公開されると各種地図サービスでの情報加工が可能になる
- 収集したデータの利用条件に関して、提供者側がどのような観点でデータを収集しているかなど、**使い方も含めたルールの明確化をすることが必要**
- 過去の災害などのデータを元に**災害発生になり得るようなリスク診断のKPI**や**基準**を整えていくことが重要
- 防災データは人命にかかわる可能性あり、**データの鮮度・正確性を保つ**必要あり

今後の予定

- 第4回WGで、以下ご報告・意見交換を予定
 - ✓ 各ユースケースにおける課題や対応策の整理
 - ✓ 次年度以降のユースケース創出に向けたロードマップ（案）

【イベント】データ利活用オンラインセミナー

「まちづくり」分野の官民連携のデータ利活用事例の紹介やアイデアを3社から発信

■日時 : 令和4年1月25日(火曜日) 午後3時30分～午後5時

(発表資料:<https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/society5.0/eventdata.html>)

■参加人数 : 182名



発表資料

株式会社ZMP

「歩行速ロボットのセンサデータを
活用したウォーカブルな街づくり」



参加者

パーソナルデータの取扱など街を幅広く撮影する上で留意されている点は？



登壇者

マスキングをしたうえでデータを保持し、数値化したのちに共有・利活用することを想定

Symmetry Dimensions Inc.

「デジタルツイン構築を通じた
官民データ利活用の取組」



参加者

プロジェクトへの地域住民の巻き込みに関し工夫している点は？



登壇者

地域住民やまちづくり企業・団体との連携、デジタルツインに載せた情報をブラウザ等でわかりやすく幅広い年代に見てもらうこと

全日本空輸株式会社

「利用者・事業者・自治体の
データ連携によって実現
『Universal MaaS～誰もが
移動をあきらめない世界へ』」



参加者

バリアフリー分野はマネタイズが難しい分野だが、いかにビジネスを広げていくのか？



登壇者

一般ユーザーのデータ収集のモチベーションを高め、移動を躊躇していた層の移動を増やす

【コミュニティ】Slackの活用状況

Slackにて運用中の「東京データプラットフォーム協議会ワークスペース」を
情報共有、参加者間の交流、意見発信等の場として活用中

ワークスペース詳細

参加人数

- 356名（2月10日時点）

チャンネル一覧

- 協議会全体チャンネル
- 雑談チャンネル
- 自己紹介チャンネル
- 各WGチャンネル
（混雑/防災データ/施設系データ集約）
- デジタルツインチャンネル
※その他各イベントの参加者の方が参加するチャンネルも作成し、交流を図っております


登録方法

- アンケート内に登録者情報を記入
- 以下事務局アドレスからも随時申込み可
tokyo.dpf@tohatsu.co.jp

主な投稿内容


- 事務連絡
- 情報共有
- 自己紹介等、参加者間の交流
- イベントの告知 等

（投稿イメージ）

 株式会社AAA

株式会社AAAです。当社では---を提供しております。詳細はこちらをご覧ください。

URL:*****

 株式会社BBB

XXエリアで実証実験開始しました！
ご興味のある方は以下リンクから見てみてください！

【協議会】総括

TDPF協議会設立・新規WG設置により、コミュニティ形成・活性化 ユースケース創出に向けた土台を構築

今年度の総括

会議体・イベントの
参加状況

- 推進会議（新設） **600名**
- 混雑WG **133名**
 - 防災データWG（新設） **350名**
 - 施設系データWG（新設） **265名**
- オンラインセミナー（新規） **182名**
- スラックコミュニティ（新設） **380名**

延べ参加者数

加入者数

参加者の声

- ・分科会などを設定してより参加者の意見を収集しやすくするのも一案（推進会議）
- ・他企業と議論する場が欲しい（WG）
- ・官民一体で課題解決を行う貴重な場。定期開催して一層議論を深めたい（アイデアソン）
- ・行政データを活用したサービスを検討する上で参考になった（オンラインセミナー）

今後の予定

- ケーススタディ事業等を活用し、ユースケースは段階的に実装フェーズへ
 - ✓ 各分野の専門家による**アドバイザー制度構築**等のユースケース創出に向けた支援機能の強化
 - ✓ WG拡充等を通じて、テーマ毎の関係者による**参加者双方向型の議論の場**を整備
- 協議会参加者のコミュニティ形成及び活性化を更に促進するための仕組みを構築

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

令和3年度の取組

令和2年度

令和3年度

コミュニティ
構築

準備会

・事業範囲、WGの検討

WGの設置

・民間事業者等と議論

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係る
ポリシー案1.0策定

ユースケース
創出

デジタルサービス局新設

●(国)デジタル庁設置

協議会設立

・事業内容、事業計画(案)等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

東京データプラットフォームケーススタディ事業

・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

データ整備

行政データ整備モデル事業

・区市町村の行政データを整備、TDPFへ誘因

ポリシー

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

【ケーススタディ事業】3プロジェクトの概要

新型コロナウイルス感染症防止対策をはじめ、社会的な課題の解決等に資する3つのカテゴリーで、令和3年7月から令和4年1月までプロジェクトを実施

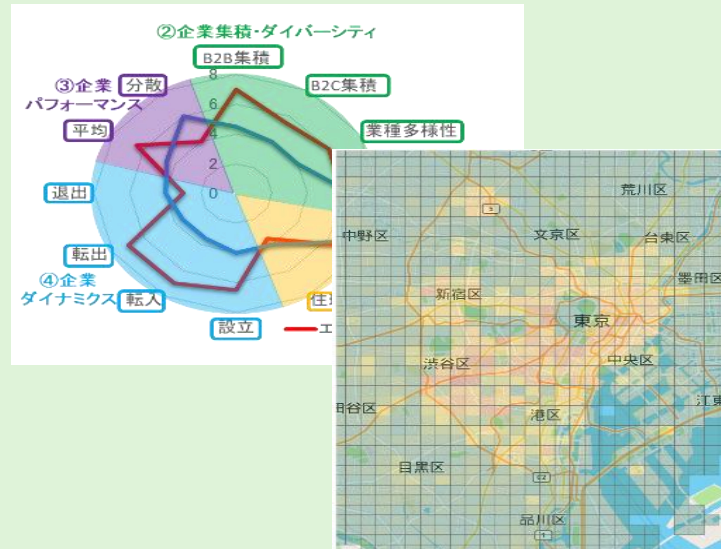
混雑情報活用

- 都内飲食店における「混雑・予約データ」等の活用による自動集客化サービスへの取組



庁内データ又はオープンデータ活用

- 行政データの積極的な活用による「地域プロファイリング」の創生



民間データ活用

- 民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開



【ケーススタディ事業】総括

プロジェクト実施者以外にも、効果検証に36社が参加し、新たな気づきが生まれたデータの取得・調整段階での課題等を抽出し、今後に向けたToDoを整理

気づき・課題

✓ データの取得・調整段階

- カタログサイト未掲載の行政データ取得に時間と調整を要する
- 民間データ取得の調整が負担大
- 更なるデータ掛け合わせに挑めていない

✓ プロジェクト全体

- 経済性の成立が確認できていない分野の関与・推進に期待
- イベント含め、コミュニティ維持

今後に向けたToDo

1 利用目的に沿った対象データの示唆

- ・都自らの持つデータ・アセットの更なる公開、活用
- ・民間データの利活用ノウハウ集約

2 ケーススタディ「テーマ」は、WG活動中心に検討

- ・都政方針に沿ったテーマの推進
- ・チャレンジ性の高いモデルに機会付与

3 TDPF「ファン」のつながりを、より活性化と持続

- ・自走するオープンなコミュニティの推進

【ポリシー】ポリシー案の全体構成、策定内容

令和2年度に策定したポリシー案について、令和3年度の活動を基に改訂

主な策定内容

法令

契約

技術

東京データプラットフォーム ポリシー構成

- ポリシーの全体の構成図、ポリシー全体に係る前提事項、考え方等

東京データプラットフォーム プライバシー ステートメント

- プライバーステートメントにおける条項案構成
- 対象とする情報(パーソナルデータ)、対象者(データ提供者・利用者及び個人)と規定 **法令 契約**
- パーソナルデータの定義に関する法律を(個人情報保護法・東京都個人情報保護に関する条例)と規定 **法令**
- 原則オプトアウトでのパーソナルデータの第三者提供をしない方針…等

東京データプラットフォーム 規約

- 規約における条項案構成(第1章:総則、第2章:データ提供者向け、第3章:データ利用者向け、第4章雑則)
- サービス利用に関する入退会の基本内容(入会・禁止事項・ログインアカウントの取り扱い・任意退会・強制退会等)を規定 **契約**
- データ提供時の基本的なルール(提供対象データに応じた表明保証・TDPFからの関与範囲を定めること等)を規定 **法令 契約**
- データ利用時の基本的なルール(例:データ利用者の情報管理体制により利用できるデータやTDPFからの関与範囲を定めること等)を規定…等 **法令 契約**

東京データプラットフォーム データガバナンス指針

- データガバナンス指針における条項案構成
- パーソナルデータ保護とサイバーセキュリティ確保に加え、積極的なデータ利活用のために運営組織が取り組むことを規定 **技術**
- TDPF運営組織からの情報発信・意見聴取のため、TDPFに係る関係者との対話を図ることを規定…等

東京データプラットフォーム コンプライアンス指針

- コンプライアンス指針における条項案構成 **法令**
- 各種の関係法令を遵守、運営組織の透明性を保つめの第三者委員会を設置し監査体制を確立すると規定 **法令**
- データプラットフォームに係るコンプライアンス研修を運営組織内で実施と規定…等 **法令**

東京データプラットフォーム 情報セキュリティ ポリシー

- 東京都サイバーセキュリティ基本方針に準じた、情報セキュリティポリシーにおける条項案構成 **法令**
- データプラットフォーム事業者としてデータ流通時に留意する対策・最新のセキュリティに対する情報収集をしていくことを規定…等 **技術**

【ポリシー】ポリシー策定委員会 委員一覧

《五十音順》（敬称略）

所属	委員
中央大学国際情報学部 教授	いしい 石井 かおり 夏生利
ひかり総合法律事務所 弁護士	いたくら 板倉 よういちろう 陽一郎
一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 常務理事	さかした 坂下 てつや 哲也
一般社団法人ECネットワーク 理事	さわだ 沢田 としこ 登志子
東京大学大学院法学政治学研究科 教授	ししど 宍戸 じょうじ 常寿
三浦法律事務所 弁護士	ひおき 日置 ともみ 巴美
英知法律事務所 弁護士	もり 森 りょうじ 亮二

【ポリシー】論点：ユースケースとポリシー案の対象範囲

個人情報を含まないデータの活用で、ケーススタディ事業や
防災及び施設系データ集約WG活動を通じてサービスの実証や検討を進めた

データ流通推進事業において扱う範囲、ポリシー案対象範囲

個人情報を含まないデータ

①個人情報・パーソナルデータ
以外のデータ

②個人情報を含まないパーソナルデータ

③個人情報を含む
パーソナルデータ

防災WG

防災データ

バリアフリー
データ

災害関連
データ

施設系WG

トイレデータ

ぐるなび

混雑指数データ

公共交通
データ

属性情報等を
含む人流データ

個人情報保護法に
おいて定められた
個人情報

Pacific
Consultants

駅利用圏ポテンシャルデータ

自然・環境
データ等の
混雑データ

匿名加工
情報

UTecon
Innovation through Economics

地域プロファイリン
グデータ

【ポリシー】今年度のポリシー案の改訂について

契約（TDPF事業で遵守すべきルール）
ユースケース（WG・ケーススタディ）
推進会議等

ユースケース参加事業者へのポリシー案
についてのヒアリングを実施・結果を検討

- ・ 個人情報の表明保証
- ・ 利用条件、二次利用
- ・ 利用状況確認・監査 等

現行のポリシー案で対応可能な範囲と
確認

意見等からの文言の修正はしない

法律（法令改正）

令和3年度「個人情報保護法」および
ガイドラインなどの改正

保有個人データに関する公表等事項と
して保有個人データの安全管理措置が
追加

データの保管場所、外的環境の把握
(個人情報ガイドライン改正)の記載 等

法令改正に伴う変更を実施

技術

データ連携基盤構築事業での技術的
対応方針の確認

・ 令和4年度以降の取組

今後検討

ポリシー案1.1へ改訂

【ポリシー】主なポリシー案の変更点

**新たな改訂内容は主に下記2点、
その他に法令改正に伴う条項の紐づけや注釈の削除を実施**

プライバシーステートメント

<個人情報保護法 令和2年改正法 15条1項>

曖昧な利用目的の記載ではなく、データを利用される本人が、予測できる程度に利用目的を特定しなければならないため、具体的に利用目的を記載

情報セキュリティポリシー

<個人情報保護法 令和2年改正法 23条>

国によって、保管するデータやサーバにまつわる法規制が異なるため、データは国内（又は日本同等の個人情報の取り扱いレベルの国）のサーバに保管することについて明記

【ポリシー】検討を要する主要事項

令和4年度以降はTDPF運営組織の管理体制や取り扱いデータの判断方法、データ利用者の資格等を含めて、検討範囲を拡大予定

(1) 全体

- **TDPF運営組織における管理体制整備**
- ユースケースの検討
- 利用目的の明確化
- **取り扱いデータの判断方法**
- 規約やそれ以外で策定したルール改定の際における仕組みの整理
- TDPFによる表明保証や免責、責任、罰則、制裁措置の規定
- 紛争時解決手段
- 法令改正等による改訂

(2) 本人対応(対データ主体)

- データ主体から同意を得る仕組み
- データ主体の同意コントロールを担保するための仕組み

(3) 取得(対データ提供者)

- データ提供者の利用条件の類例化
- データ提供者に表明保証いただく詳細事項、TDPFが確認する際の詳細事項

(4) 利用(対データ利用者)

- **データ利用の利用資格、利用状況・管理体制等、TDPFが確認する際の詳細事項**

社会動向

- ・新型コロナウイルスとパーソナルデータ
- ・事業者における顧客情報の利用を巡る法律問題研究会（日本銀行金融研究所） 等

国や法令関連の動向

- ・個人情報保護関連
- ・データ流通促進取り扱いルール
- ・分野間データ連携基盤 等

【データ連携基盤構築事業】概要

3つのコンセプトのもと要件を検討

TDPF運営組織設立後の速やかなサービス提供につなげる

令和4年3月

コンセプト

①大きなデータベースは作らない	<ul style="list-style-type: none">■ データを貯めるのではなく、流通させる連携基盤■ 国や関連団体と同期、他PFとの相互運用性の確保
②トラストの確保	<ul style="list-style-type: none">■ データのトラストと利用者のトラストに対して連携■ 基盤が果たすべき役割の見極め
③リーンスタートと拡張性	<ul style="list-style-type: none">■ 早計に最終形を定義せず、必要な機能からスタート■ マイクロサービスアーキテクチャ※で構成 (※ 小さな独立した部品の集まり)

ベンダーフリーな要件定義書

オープンデータとして公開予定

今後の
予定

- TDPF関連事業からのフィードバック及び、国のデータ戦略の動向やデータ社会推進協議会（DSA）の取組を踏まえ要件定義書を改版（令和4年度以降）

【データ連携基盤構築事業】進捗状況(1/2)

相互運用性の観点や改訂したポリシー案に基づいて検討

①大きなデータベースは作らない

・相互運用性の観点で検討

- 1 プラットフォーム連携**API仕様をオープン**することで連携先プラットフォームの対応をサポート
- 2 APIは原則**ローコードで実装**、連携先との早期接続を実現
- 3 **DATA-EX基盤との接続は前提**として、詳細な要件は分野間データ連携基盤の検討状況を踏まえて継続検討

②トラストの確保

- ・改訂したポリシー案に基づいて検討
- ・必要に応じて次年度のポリシー案改訂事業にフィードバック

1 データに対するトラスト

- ➡データ提供者からの**表明保証**^{※1}の取得・管理
- ➡データの**利用実績**を評価

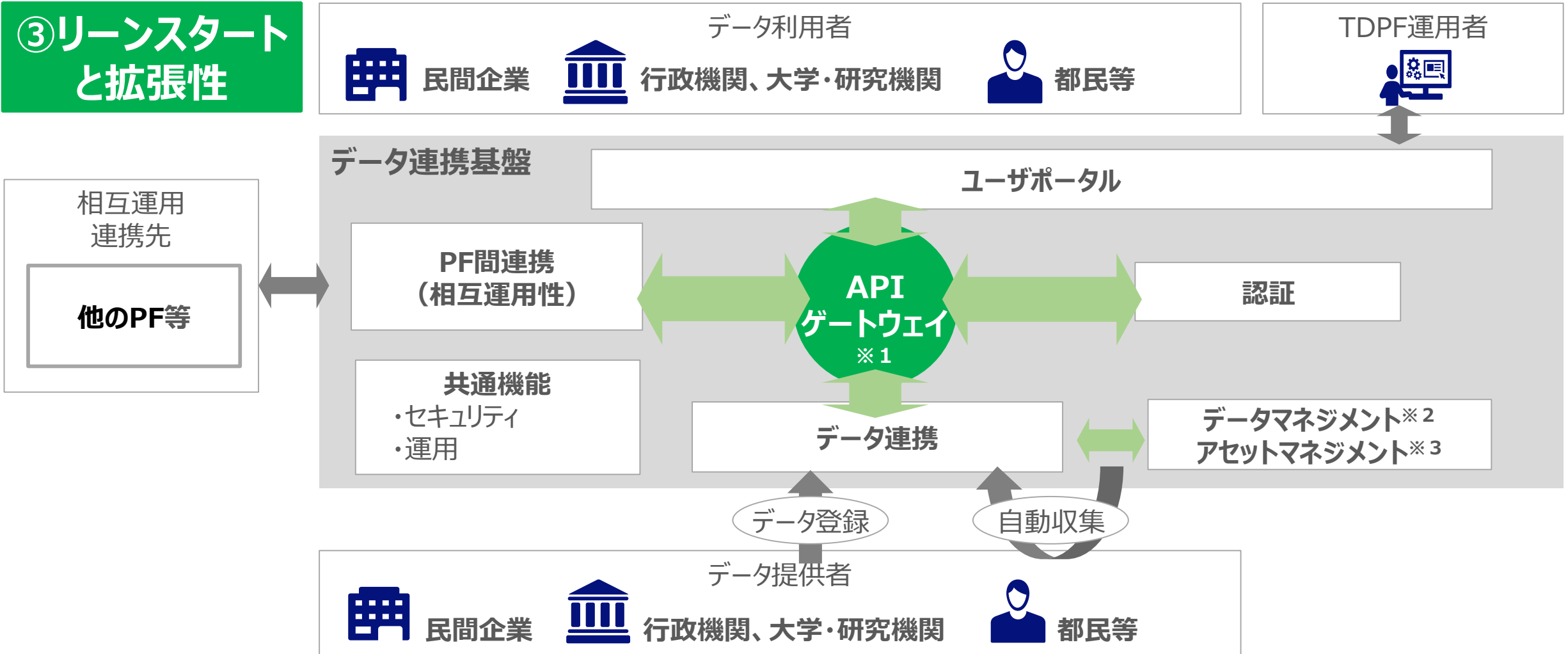
2 参加者に対するトラスト（参加時）

- ➡**個人と組織**（民間企業、行政機関等）に整理
 - 個人**：多要素認証による本人確認
 - 組織**：登録に必要な情報を**運用担当者が審査**

【データ連携基盤構築事業】進捗状況(2/2)

各機能の連携のハブとなるAPIゲートウェイを中心とした構成

③ リンクスタートと拡張性



※1 複数のAPIの集約やAPIの使用量制限、ネットワーク速度制限等を実行する。

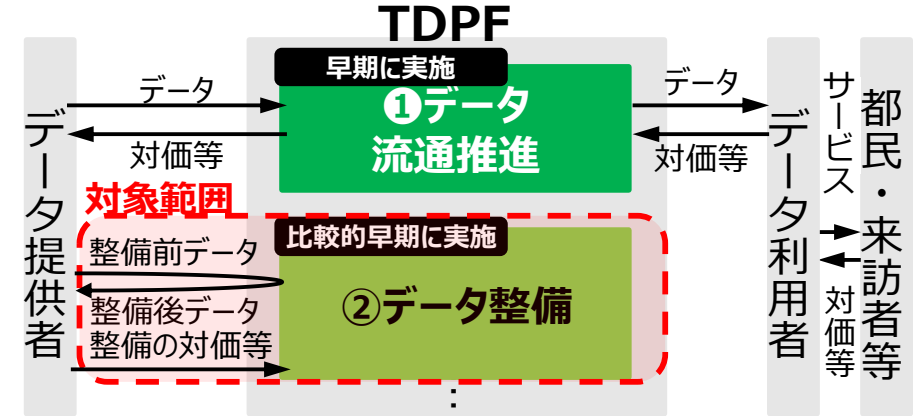
※2 データ連携基盤に保存・蓄積するデータを管理する機能を提供する。 ※3 データ連携基盤を構成する各機能の死活監視等、システム状態管理を行う。

【行政データ整備モデル事業】進捗状況

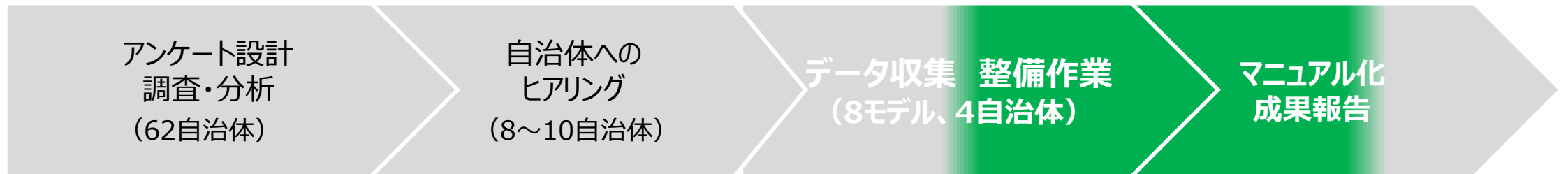
アンケート等を通して選定した対象データについて、データ整備作業を実施中

事業目的

- 自治体のデータ保有に関する課題認識や、データの質向上
- 機械判読可能な形式へのデータ整備手法をモデル化し、TDPFを通じた区市町村のデータ利活用を促進



進捗



下記データ（緑色）の整備モデルのマニュアル化を進める

地域・年齢別人口

介護サービス事業所の
一覧

医療機関の一覧

食品等
営業許可・届出一覧

イベントや工事に伴う
交通規制

行政情報公開請求の
処理状況
(統計処理したデータ)

バリアフリートイレ情報

避難関連施設情報
(※)

(※) 地図へのプロット作業より先にデータフォーマット整備を優先し、「ハザードマップ」から「避難関連施設情報」に表記修正

対象データ

整備モデル

【行政データ整備モデル事業】総括

自治体のデータ整備の取組状況に応じた、整備モデルのマニュアル化を実施

整備モデル	対象データ	協力自治体	マニュアルの内容
①画像・PDFから変換	地域・年齢別人口	板橋区	PDFのみでしか取り出せないデータがある自治体向けのマニュアル
②エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含まず)	介護サービス事業所の一覧	八王子市	エクセルデータ化まではできているが、エクセルデータのフォーマットの統一を進める自治体向けのマニュアル
	医療機関の一覧	板橋区	
	医療機関の一覧	三鷹市	
	避難関連施設情報	八王子市	
③エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含む)	介護サービス事業所の一覧	三鷹市	エクセルデータの中で、住所等のフォーマット統一ができしており、緯度経度情報を追加し正規化するマニュアル
	医療機関の一覧	八王子市	
	バリアフリートイレ情報(※)	港区	
④複数区のデータ変換・統合	地域・年齢別人口	品川区 目黒区 渋谷区	複数の自治体のオープンデータを変換・統合し、民間事業者の中で流通しやすい形式にするためのマニュアル

※第3回推進会議以降、授受するデータのフォーマットに変更並びに事例の少なさを鑑みて、Shapeファイル等の整備は削除

今後の
予定

- パターンに応じたマニュアルを作成し、成果報告会を実施（3月下旬）
- データ整備対象を拡充し、データ整備事業の準備を進める（令和4年度以降）

【行政データ整備モデル事業】 成果報告会

令和4年3月下旬、行政データ整備モデル事業の成果報告会を開催予定

開催概要

日時：令和4年 3月下旬予定 90分間（予定）

形式：オンライン開催

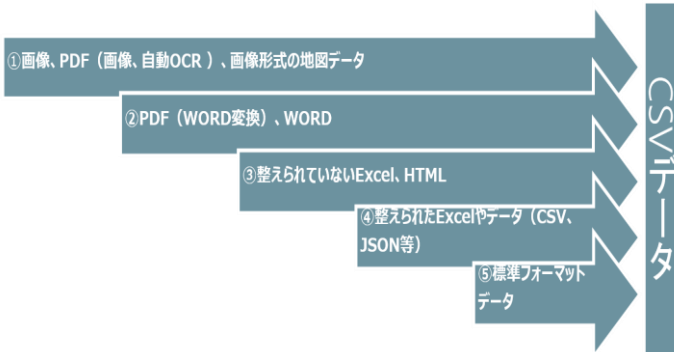
- 主な内容（案）：
- データ整備について東京都の考えと事業概要
 - データ整備の必要性とマニュアル概要
 - データ整備事例の紹介

データ整備の概要 （イメージ）

データの概要作成

記載例	
カテゴリ	管理 ID
管理 ID	CA00001
タイトル	文字情報基盤
サブタイトル	
説明	行政で用いられる人名漢字、法人用漢字、かな等の約6万文字の漢字です。
キーワード	漢字、戸籍統一文字、住民基本台帳ネットワーク統一文字、登記統一文字、変体仮名
テーマ分類	文字
対象地域	全国
提供者	文字情報技術促進協議会

整備方針



クレンジング処理

電話番号	正規化済み電話番号
626-4188	042-626-4188
648-3566	042-648-3566
677-0480	042-677-0480
679-1188	042-679-1188

【デジタルツイン】概要

目的

- サイバー空間とフィジカル空間の融合によるデジタルツインの社会実装を加速
- 庁内各局の業務にどのようにデジタルツインを活用・実装していくべきか検討

地下空間も含めたリアルタイム人流可視化

A:リアルタイム人流予測データを活用し混雑度を可視化、混雑回避を促すことができるか検証

B:発災時の通信が制限されている状況でも人々の避難を促すことができるか検証

地下埋設物の3D化による業務改善効果検証

地下埋設物の高精度3Dモデルを作成し、それを活用した地下埋設物の管理の高度化を検証

スマートフォンを活用した3Dマップ更新検証

スマートフォンのLiDAR機能を用いて点群データを取得・更新する仕組みを検証

専用WEBサイト構築

都民の理解促進に資するWEBサイト構築及び公開

ロードマップ初版の策定

デジタルツイン社会実装に向けた具体的な設計図（ロードマップ）を構築

東京都における「都市のデジタルツイン」社会実装に向けた検討会

ロードマップ策定の方向性や技術的課題等につき有識者及び内外関係者で議論

※延べ傍聴者数1,100名超

実施事項

【デジタルツイン】専用WEBサイト

都民理解の向上を目指し、情報発信サイトと3Dビューアを構築

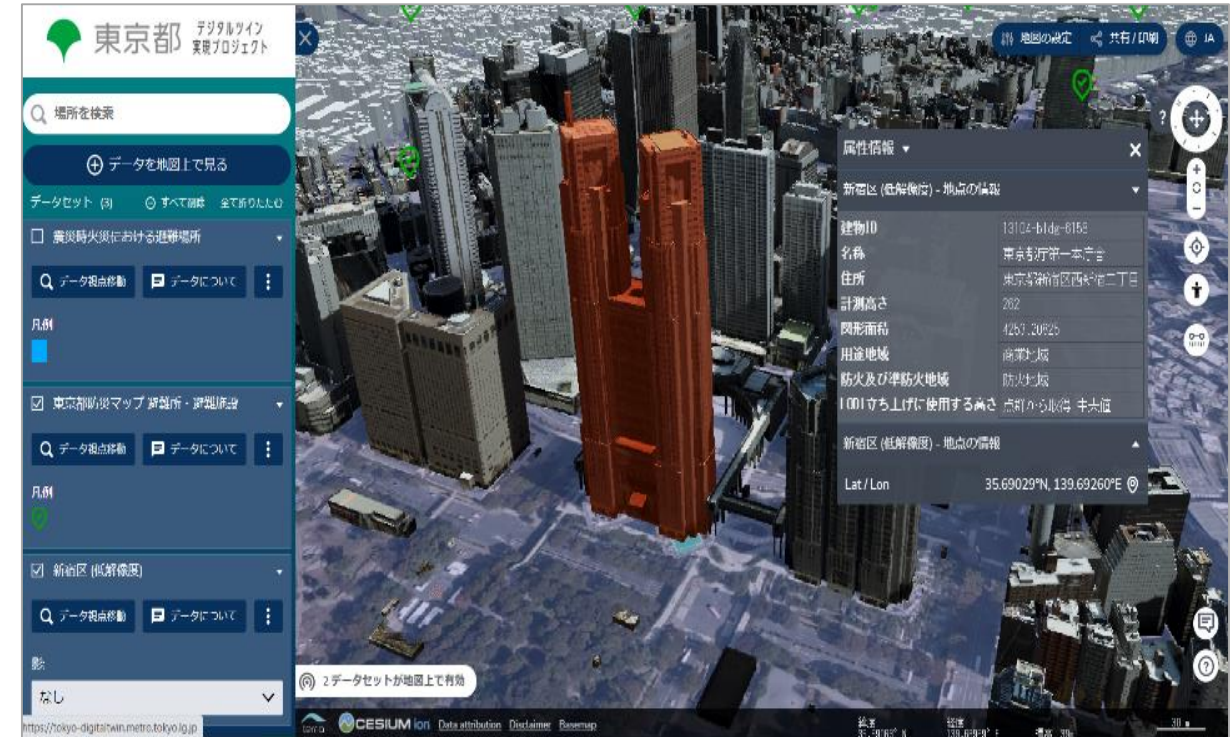
情報発信サイト

➡ 英語版も公開済。GitHubで3DビューアOSSや検討会議事録、CityGMLコンバータ日本語版も公開



3Dビューア

➡ 令和3年7月に公開。庁内各局や区市町村のデータなど30種類以上のデータを掲載 ※令和4年2月時点

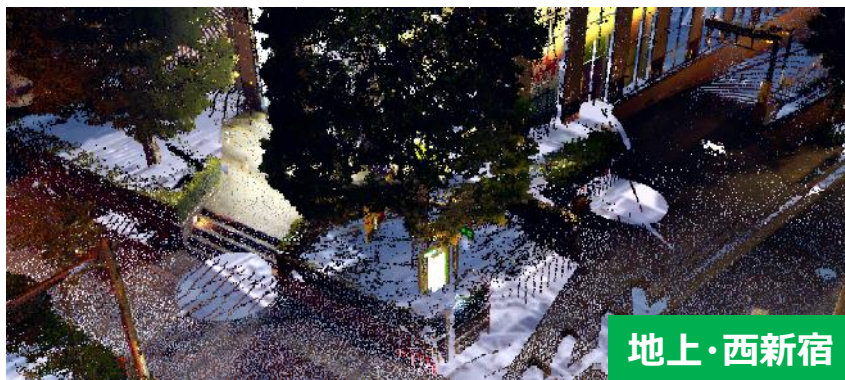
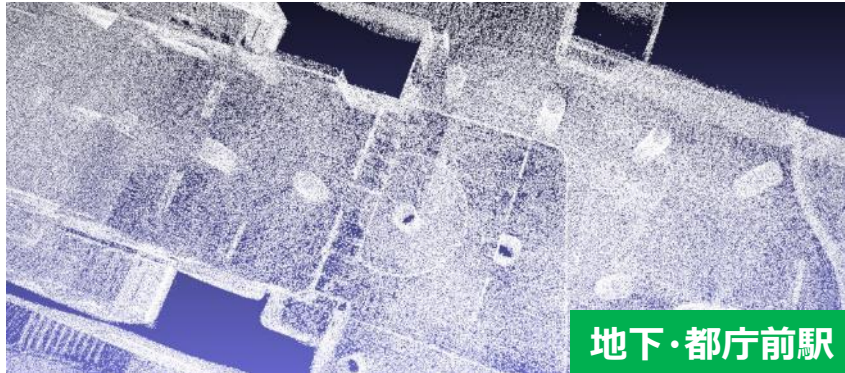


【デジタルツイン】スマートフォンを活用した3Dマップ更新検証

都民参加での3Dデジタルマップの更新及びユースケースを検証

3Dデジタルマップ更新

大型測量機器を利用し取得したベース点群



スマートフォンで取得した点群で更新



スマートフォンを利用した点群取得の様子

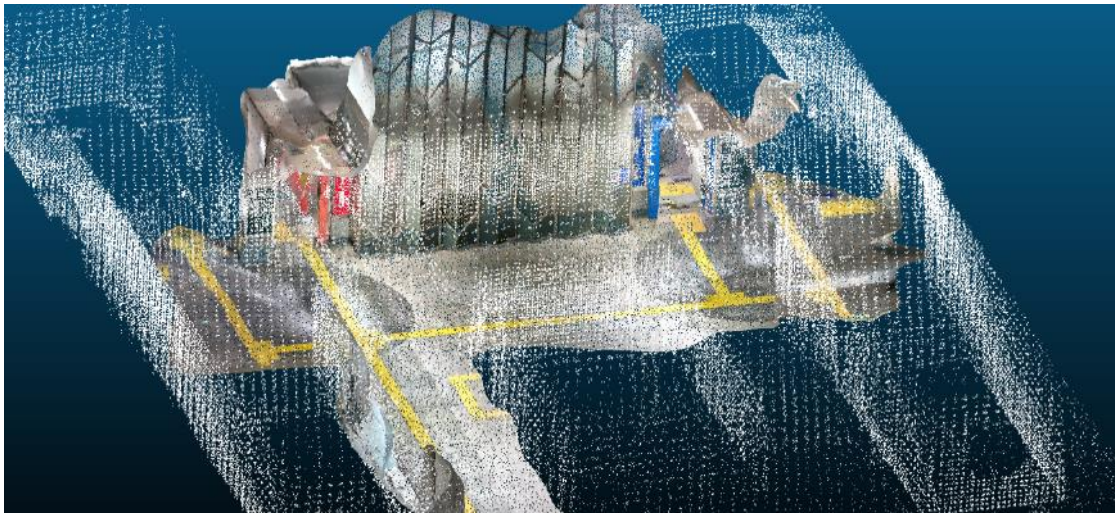
ベース点群では表しきれない変化の速い都市の要素を、スマートフォン活用によって都民参加型で更新

【デジタルツイン】スマートフォンを活用した3Dマップ更新検証

地下エリアでデータ取得、課題の洗い出し

実証成果：地下エリア

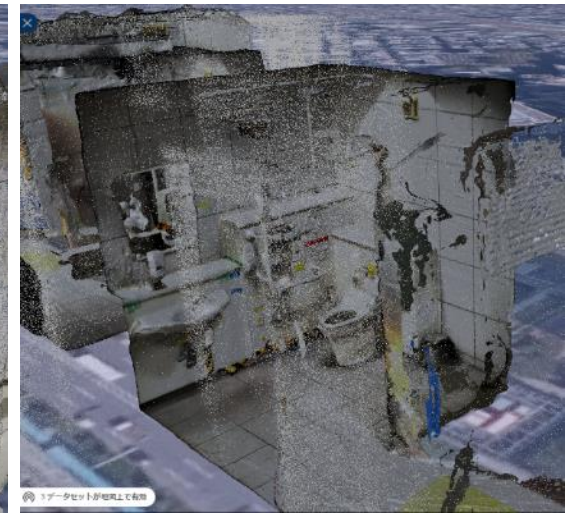
都庁前駅の3D点群とスマートフォンを利用して取得した点群の自動位置マッチング、
点群・メッシュの3Dビューア上表示を試行



重畳用点群がベース点群上に位置合わせされた様子



だれでもトイレの点群・メッシュデータ



- 西新宿地上でのスマートフォン点群撮影、ベース点群への自動重畳を実施(~令和3年12月)
- 今回取得した点群・メッシュの3Dビューア上での公開(~令和4年1月)
- 最終報告とりまとめ(~令和4年2月)

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

5. 日置委員の発表

-データ利活用に関連する法制、政策の動向-

三浦法律事務所 弁護士 日置巴美様

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

■ 令和3年度事業の総括（成果・課題）について

- 協議会事業
- ケーススタディ事業
- ポリシー事業
- データ連携基盤構築事業
- 行政データ整備モデル事業

■ データ利活用に関連する法制、政策の動向について

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

TDPF事業計画（案）の全体像①

推進会議での議論も踏まえたビジョン・ミッション案のブラッシュアップ、 推進計画（案）のアップデートを実施

大項目	中項目	小項目
1ビジョン・事業の概要	1TDPFのビジョン・ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン・ミッション ・データ戦略
	2TDPFが担う事業	<ul style="list-style-type: none"> ・TDPFの事業概要
	3TDPFの注力分野	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカス分野の選定、注力分野
2推進計画（案）	1推進計画（案）概要	<ul style="list-style-type: none"> ・TDPFの目標、推進計画策定方針 ・「スマート東京」におけるTDPFの役割・各事業の位置づけ ・推進計画概要（案）
	2推進計画（案）取組別・事業別	<ul style="list-style-type: none"> ・個別推進計画
3個別事業	1データライブラリ	<ul style="list-style-type: none"> ・データライブラリ事業概要
	2データ流通プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・データ流通プラットフォーム事業概要 ・取扱データ／データ保有有無 ・トラストに関する取組
	3コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会WGのコミュニティ、イベント実施 ・コミュニティ活動支援機能
	4データ整備支援	<ul style="list-style-type: none"> ・データ整備事業概要 ・サービスメニュー

今年度検討事項を反映

TDPF事業計画（案）の全体像②

ポリシーやシステムアーキテクチャは、今年度の事業成果を反映

大項目	中項目	小項目
4 会員制度／利用条件	1 TDPF利用者の考え方	・TDPF利用者の範囲
	2 会員制度	・会員制度
	3 利用条件	・利用条件
5 ポリシー	1 ポリシー諸規定	<ul style="list-style-type: none"> ・データガバナンス指針 ・プライバシーステートメント ・コンプライアンス指針 ・規約 ・情報セキュリティポリシー
	2 アドバイザリーボード	・体制/運用
6 システム アーキテクチャ	1 システムアーキテクチャ	・必要機能、保有形態
7 組織及び運営方針	1 想定組織	・体制・要員等
	2 運営方針	・組織の運営方針
8 収支計画	1 コスト負担の考え方	・コスト負担の考え方
	2 収支計画	・TDPF事業の収支試算

①ビジョン・ミッション（案）のブラッシュアップ

原案を活かしつつ、第3回推進会議での議論を踏まえた形で検討を実施

原案（第3回推進会議で発表）

ビジョン

経済発展と社会的課題の解決を両立させる「スマート東京」の実現に向け、データの流通を促進することで、民間のイノベーションを後押しし、都政の“QOS”を上げ、都民等の“QOL”を向上

ミッション

様々な人たちとともに、データとデジタル技術を活用して、社会的課題を解決
オープンな取組を通じて、安心してデータ利活用が進む社会を創造

1-1 TDPFのビジョン・ミッション ブラッシュアップ（案）

ブラッシュアップ（案）のポイントは以下のとおり

- ・実現したい社会について共感をえられるような形で具体的に表現（①）
- ・利用者は誰なのか、都の果たすべき役割についてキーワードを追加（②）

ブラッシュアップ（案）

ビジョン

- 官民のデータ流通を促して、イノベーションを後押し、社会課題を解決
- 全ての人々が快適に暮らし働くことができる社会・スマート東京を実現

①

ミッション

- 都民・データ利活用に関わるあらゆる人たちと、オープンに協働
- 安心してデータ利活用できる社会の実現を先導

②

②推進計画（案）更新

- TDPFが目指す姿である、スマート東京の実現にはデータプラットフォームの基盤構築に加え、プラットフォーム利用を促す多角的な取組が必要



コミュニティ構築・業務基盤整備を、国・他PFと連携しつつ段階実施

		令和3年（2021年）	令和4年（2022年）～ 令和7年（2025年）		
TDPF構築の ステップ	TDPF運営組織 設立準備	準備会の議論を踏まえた コミュニティ構築、 業務基盤整備開始	(仮) TDPF運営組織 設立・運営		
		準備会の議論を踏まえた コミュニティ構築、 業務基盤整備開始	運営組織を想定した 活動強化・推進 コミュニティ（民間事業者等）の自律的な活動を支援・拡大	運営組織立上げ 都の協働事業開始	コミュニティ・業務基盤強化 他団体との連携強化
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会を設立し、コミュニティ構築開始 ・注力分野を定め、WG活動拡充（防災データ・施設系データ集約 新設） ・データ整備事業検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の取組強化 会員組織化開始 ・WG活動拡大（3→5、アドバイザー制度等の活動支援強化） ・創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤に実装 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ連携基盤構築、運営組織による各事業スタート ・データ整備事業開始 ・アドバイザーリーボード（第三者委員会）設置・運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・他PFとの接続開始 ・データ連携基盤の取扱いデータ拡充 ・協議会有償会員制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例創出 ・有償データ取扱開始 ・基盤充実により会員増を目指す

2-1 推進計画 取組別（案）概要

コミュニティ・基盤構築の拡充にあわせて、ユースケース実装や事業拡大を進めていく



令和4年度の取組

令和3年度

- デジタルサービス局新設
- (国)デジタル庁設置

コミュニティ構築

協議会設立

- ・事業内容、事業計画(案)等の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

ケーススタディによるデータ利活用事例創出

- ・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

データ整備

行政データ整備モデルの構築

- ・区市町村の行政データ整備手法をマニュアル化し、TDPFへ誘因

ポリシー

ポリシー案の改訂

- ・継続検討・確定事項の反映

基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

- ・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

令和4年度

①協議会の取組拡充

- ・事業内容、事業計画(案)、会員組織化に向けたプレ会員募集等検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの拡大 (3⇒5)

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論
- ・アドバイザー制度の構築(試行)等によりユースケース創出を支援

②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

- ・ユースケースを仮想データ連携基盤に実装

③データ整備手法の拡充・事業化準備

- ・民間事業者や自治体等のデータ整備を通じニーズの高いデータフォーマットを統一

④ポリシー案改訂・アドバイザーリーボード設置準備

- ・継続検討・確定事項の反映、アドバイザーリーボードの検討

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- ・データ連携基盤の要件定義改版、仮想データ連携基盤の構築

【令和4年度の取組】①協議会の取組拡充

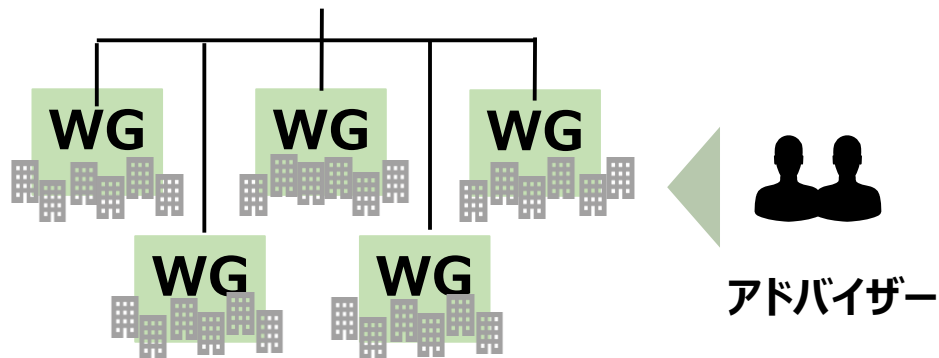
WG活動を拡大するとともに、アドバイザー制度構築によりユースケース創出の取組を拡充
コミュニティの更なる発展とあわせ、TDPF運営開始に向けた準備を加速

東京データプラットフォーム協議会

推進会議



様々な分野の有識者等で構成



テーマごとの関係者（企業等）で構成
アドバイザーによる支援



コミュニティ活性化のためのイベントを開催

実施内容

推進
会議

- WG・イベントの取組や関連事業の進捗状況報告
- 注力分野や事業計画（案）等の共有・討議

WG

- WGの分野拡充とともに、ケーススタディ事業を活用してユースケース創出を更に推進
- 国内外の先行事例調査や新たに各分野の専門家から助言を得られるアドバイザー制度の構築（試行）等によりユースケース創出の取組を支援

イベント

- WG活動の推進及び協議会メンバーのネットワーク拡大に向けたイベント実施（オンラインセミナー等）

プレ会員募集等、会員組織化に向けた準備を実施

【令和4年度の取組】②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

WGでの検討テーマを中心にケーススタディを3件公募 仮想データ連携基盤の利用、ポリシー案適用により実装に向けた検討を具体化

事業内容

- ① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディを3件公募**
 - 協議会WGにて検討したテーマ等の実証など
- ② TDPF関連事業における具体的な検討の場として活用**
 - 1) 仮想データ連携基盤を利用し、要件のフィードバック
 - 2) データ提供及び利用の際にポリシー案を適用し、課題の洗い出し
- ③ 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報**
 - 適宜実施するイベントや、協力事業者としての参画により一体感を高める

実施内容・スケジュール

	Step1 公募・選定 (4~6月)	Step2 プロジェクト実施 (7~翌2月)	Step3 評価 (翌3月)
① 事例創出	<ul style="list-style-type: none">• テーマ設定• 公募・選定	<ul style="list-style-type: none">• 協力事業者募集• 実証準備	<ul style="list-style-type: none">• 実証結果の分析• 最終報告書として公開
② 事例広報	<ul style="list-style-type: none">• HP等での進捗共有、成果発表会等のイベント実施		

【令和4年度の取組】③データ整備手法の拡充・事業化準備

TDPF運営組織におけるデータ整備事業を確立し、 利活用ニーズの高いデータに対するフォーマットの統一を図る

目的

- 民間事業者や自治体等のデータ整備作業を通じ、ニーズの高いデータのフォーマットを統一
- データ利活用ニーズを理解し、TDPFの運営組織におけるデータ整備事業を確立

事業内容

- (1) 民間事業者含む対象データ候補選定
- (2) データ選定のためのヒアリング・公募
- (3) データ整備作業の実施（統一フォーマット案作成、クレンジング、アノテーション、変換ツールの活用）
- (4) データ整備事業ビジネスモデルの構築
- (5) マニュアル化・成果報告会の実施

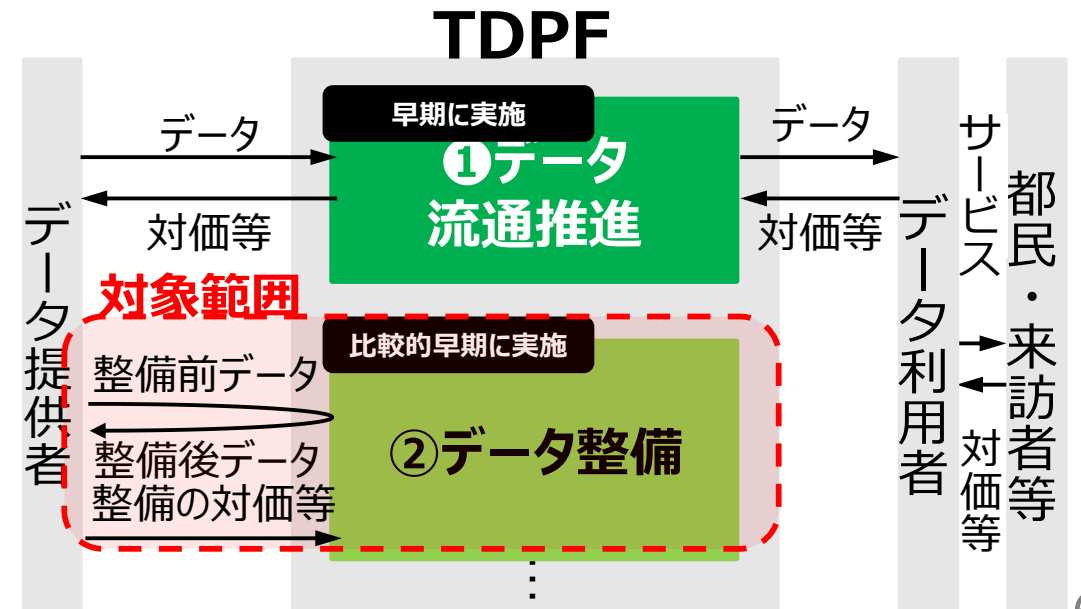
実施内容

取り組むデータ整備手法について（予定）

- エラーデータの抽出・修正
 - データ型の整理・統一、空値や不規則データの処理
- コードの採番や共通ID、位置情報の付与
 - 建物や道路等の地図情報への座標の付与 等
- メタデータの付与
 - 利用目的に沿ったメタデータの項目優先度の精査 等

※1 取り扱うデータやユースケースについては、協議会及びWGと連携

※2 メタデータについてはデータ連携基盤の仕様等も考慮



【令和4年度の取組】④ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

継続的にポリシー案とTDPF関連事業を照合し、必要に応じて改訂

令和3年度ポリシー案

東京データプラットフォーム
ポリシー構成

東京データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

東京データプラットフォーム
規約

東京データプラットフォーム
データガバナンス指針

東京データプラットフォーム
コンプライアンス指針

東京データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

協議会
ケース
スタディ
等

ポリシー
案策定

事業
体制
検討

令和4年度

「協議会」「ケーススタディ事業」「データ整備」等を通じて事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画（案）・内容詳細策定、ユースケースの具体化
- 仮想データ連携基盤の構築、民間事業者や自治体のデータ整備事業

検討結果等を反映

事業内容・ユースケース等に基づいたポリシー案に改訂

- 個人情報に限らず、事業内容・ユースケース等に応じて条項案の改訂

主な
課題

法令改正等による改訂
運営組織における管理体制整備
データ提供者・利用者に求める事項
取り扱いデータの判断方法・・・等

事業体制や必要機能の検討に応じて、アドバイザリーボード（第三者委員会）設置等の準備

【令和4年度の取組】⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

TDPF関連事業の取組を踏まえ、要件定義書を改訂

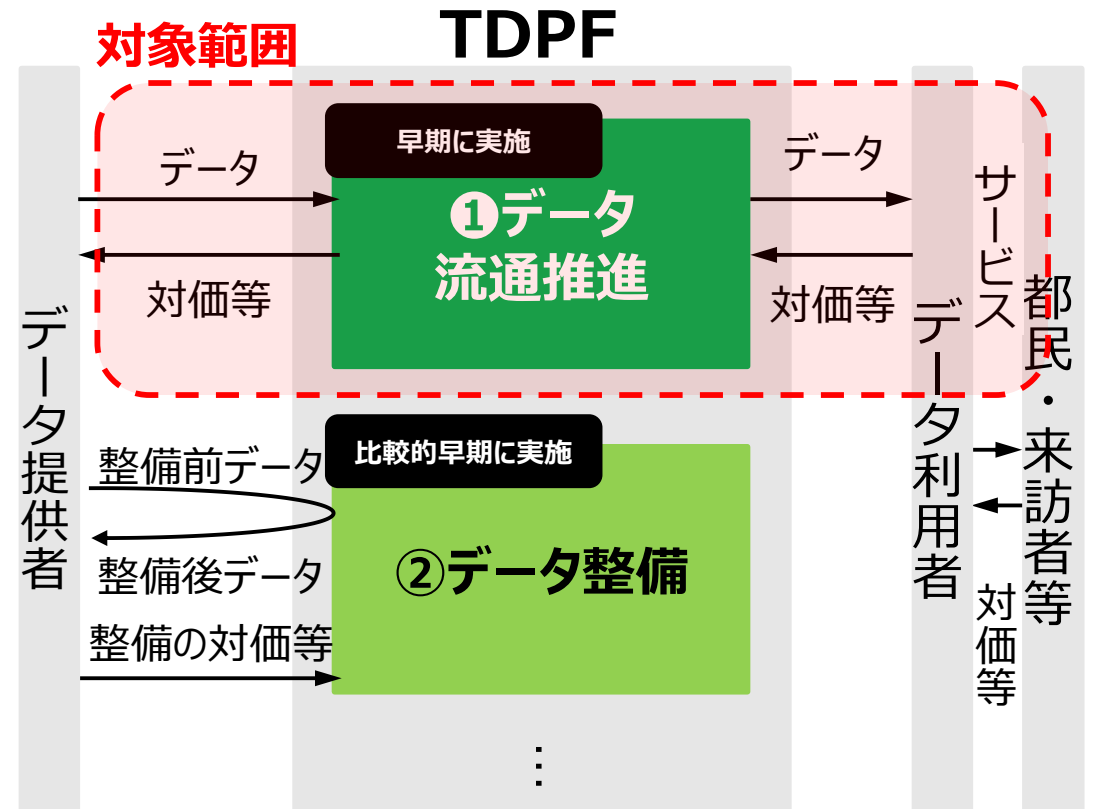
目的

- データ登録・提供機能を備えた**仮想データ連携基盤をケーススタディ事業等で活用**
- 利用者からのフィードバック及びTDPF協議会での提言、国や各団体の動向を踏まえ要件定義書を改版

事業内容

- 仮想データ連携基盤の構築・提供
(アカウント管理、データ収集・登録、データ提供、セキュリティ)
- 利用者への技術サポート・マニュアル整備
- TDPF運営組織が提供するデータ連携基盤の要件定義を改版

※取り扱うデータやユースケースについては、ケーススタディ事業、協議会及びWGと連携



【令和4年度の取組】デジタルツイン

活用事例の創出につながる様々な実証プロジェクトを推進し、庁内データ連携基盤の構築や点群データの取得・整備を通じて、デジタルツインの基盤高度化の加速を実現

庁内連携基盤の構築

- 庁内専用データベースと3Dビューア等を構築し、各局業務における日常業務での活用に向けた土台を整備

R3事業

庁内での業務活用環境なし

公開可能
データ

※外部公開可能情
報しか取扱できず

公開可能
データ

【R3構築済】
デジタルツイン3Dビューア

都民向け公開

R4事業

庁内データ連携基盤

公開可能 データ 庁内データベース (データ共通利用可能) 庁内限定 データ

庁内用
3Dビューア 庁内限定
データ

公開可能
データ

【R3構築済】
デジタルツイン3Dビューア

都民向け公開

連携

点群データ※の取得・整備

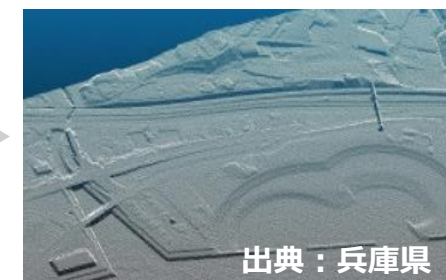
※点群データとは、レーザスキャナ等により得られたデータで、地形や建物の形状などを点の集まりとして3次元空間上に表現できる

- 各局及び民間事業者が活用できる共通基盤データとして、点群データを取得・整備し、公開



出典：静岡県

防災DXを支える共通基盤となる点群データを取得・整備



出典：兵庫県

建物・樹木などを含まない地形データとして公開

庁内各局でのデータ利活用をより一層推進

2022年度の展開

都知事杯オープンデータ・ハッカソンを開催し、シビックテック等との協働で新たなサービスを創出します

「ハッカソンのスケジュール」

シビックテック等との協働による新サービス創出

知事表彰



サービス案検討・開発
(2021年度実績：12月15日～19日)



2021年度最優秀賞受賞チーム ToDCS



サービス案の募集

(2021年度実績：11月5日～12月8日)

約300人応募目標

キックオフイベント

(2021年度実績：12月15日)

FIRST STAGE
(2021年度実績：1月15日)

FINAL STAGE
(2021年度実績：1月28日)

2021年度
優秀作品



新サービスを創出
5件



本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

8. 田邊臨時委員の発表 -包括的データ戦略の推進-

デジタル庁 統括官付参事官 田邊光男様

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

- **事業計画（案）や令和4年度の活動について**
 - 協議会の取組拡充
 - ケーススタディ事業
 - ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備
 - 仮想データ連携基盤の構築・提供
 - データ整備手法の拡充・事業化準備
- **国とTDPFとの連携、TDPFの位置付け等について**

- **今年度の振り返り、令和4年度に期待すること**

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

10. 閉会の挨拶

東京都 デジタルサービス局長 寺崎 久明

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 第3回推進会議の振り返り
3. TDPF協議会の取組内容・総括
4. 令和3年度事業の取組内容・総括
5. 日置委員の発表
6. 意見交換①
7. TDPFの事業計画（案）・次年度以降の活動
8. 田邊臨時委員の発表
9. 意見交換②・令和3年度の総括
10. 閉会の挨拶
11. 今後の予定

今後の予定について

東京データプラットフォーム協議会
第3回混雑WG
第4回防災データWG・
施設系データ集約WG

3月中旬

各WGの今年度の進捗報告・活動総括を踏まえ、今後の取組方針などを紹介

行政データ整備モデル事業
データ整備成果報告会

3月下旬

自治体のデータ整備の取組状況に応じて作成した、整備モデルのマニュアルなどを紹介

事務連絡

本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆さまのご参加お待ちしております。